

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の年6回の開催について	今年度からは、年間行事に組み込んでいく。	最低限運営推進会議に必要な人員の参加があれば、少人数の場合も開催を行なう。また、参加に魅力のある行事・講習(研修)等を行なう事でご家族・地域の方々の参加を募る。運営推進会議の際に次回に向けての行事希望を確認する。	12 ヶ月
2	35	災害対策として、避難訓練を年2回の行う事について。緊急時のスプリンクラーの設置について	スプリンクラーに関しては、今年度補助金の決定が出したい設置予定となっている。避難訓練に関しては、年間行事へ組み込んでいく。	やわらぎでは、避難訓練に関して入居者参加を基本にしていたが、入居者の混乱・負担を軽減する為、スタッフのみの避難訓練を行う。消防署にも確認し良いとの事である。6月・10月行なう予定。	6 ヶ月
3	23	開所当初からの入居者も多く、認知の状態も進んできており意思疎通が困難な入居者もあり本人の意向を聞くことが困難になってきている。	入居当初からの経過記録等でご本人の意向を確認していき、ご家族からの希望を伺う。また、新しい入居者に関しては、意思疎通が可能な段階に確認しておき記録に残しておく。	ご家族とのカンファレンスを持ち、ご本人様の以前からの意向が無かったかの確認をし、御家族様の希望も取り入れながら対応していく。	12 ヶ月
4	11	職員間の年齢層が高く女性主体の現場である為、人間関係について問題が出る。	スタック間で何でも話せる環境を作る事が望ましいことではあるが、現状は難しい。徐々にコミュニケーションをとり体制を整えていく。	お互いの事を理解する為に業務以外の場所でコミュニケーションを図り理解していく。また、1つのノートに問題点・気になる点を個々に書いていきそれについて職員が思い思いに回答していく。	12 ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。